

議題（3）休日限定の実証運行見直し（案）について

1. 市民意見を受けた実証運行見直し（素案）の再検討

（1）運行ルートについて

検討①：小野原南から春日神社前のバス停を経由して折り返すのではなく、小野原東の阪急バスのターミナルでUターン出来れば、小野原東まで行くことが出来るのではないか。

（パブコメ：2件 説明会：4件）

検討②：休日限定ではなく、平日と休日の運行ルート・ダイヤを一緒にしてほしい。

（パブコメ：1件 説明会：2件）

（2）運行ダイヤについて

検討①：日曜・祝日運行もパターンダイヤにして欲しい。

（パブコメ：1件 説明会：4件）

（3）バス停について

検討①：箕面2丁目の瓢箪池の前にバス停を作ってほしい。

（パブコメ：1件 説明会：0件）

(1) 運行ルートについて

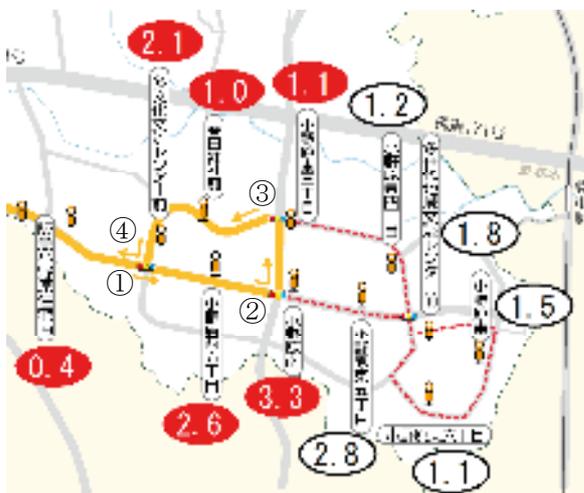
検討①：小野原南から春日神社前のバス停を經由して折り返すのではなく、小野原東の阪急バスのターミナルでUターン出来れば、小野原東まで行くことが出来るのではないか。

【市民部会での意見】

- ・収支率や運行時間に影響がない範囲内で、延伸が可能であればよい。
- ・東部の説明会では、特に必要無いといった意見もあった。ニーズが少ないと思う。

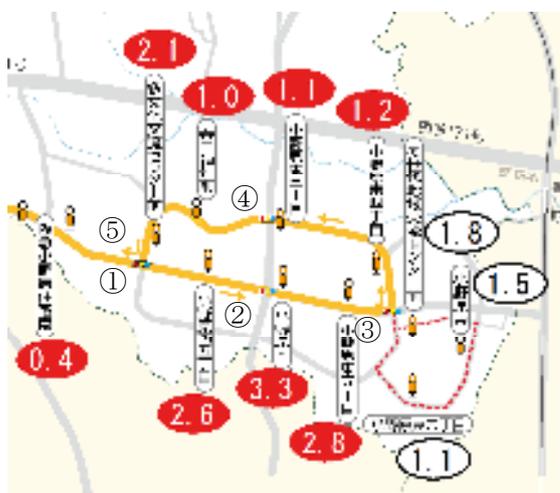
専門部会において、現行案でパターンダイヤが実現出来ないのであれば、収支率の改善が期待出来る、小野原東五丁目、小野原東四丁目を経由する延伸案にすべきと判断した。

【現行案の場合】



- ・信号①～④までの走行距離：約 1.4km
- ・走行時間：約 5 分

【延伸案の場合】



- ・信号①～⑤までの走行距離：約 2.25km
- ・走行時間：約 7 分
- ・収支率：現行案より 1.8%増

検討②：休日限定ではなく、平日と休日の運行ルート・ダイヤを一緒にしてほしい。

【これまでの経過】

- ・平成22年9月から平成25年4月までの実証運行については、平日と休日の運行内容は同じであった。
- ・約3年間の実証運行で、平日については本格運行に移行したが、市内移動の特性が平日と休日では違い、利用者数や収支率でも大きな差があることから、休日については、買い物を主目的としたルートやダイヤに改め、実証運行を開始した。

【市民部会意見】

- ・平日と休日の運行ルート・ダイヤが同じ方が利用しやすい。
- ・これまでの経過から、統一した運行内容にしても収支率は伸びないと思う。
- ・高齢者の利用者が多く、平日と休日の運行ルートが異なることにより、覚えられないため、休日は利用しないとの意見もあった。

専門部会では、これまでの経過や、平日と運行ルート・ダイヤを一緒にしても収支率の改善は望めないため、現在の実証運行見直し（素案）を進めていくことを確認した。

（2）運行ダイヤについて

検討①：日曜・祝日運行もパターンダイヤにして欲しい。

【検討資料】

- ・パターンダイヤの実現には、1便あたり走行時間を50分以内とする必要がある。

	①ルート	②ルート	③ルート
走行時間／便	53分	57分	59分

【市民部会での意見】

- ・平日と休日の運行ダイヤが違っていると覚えられない。
- ・パターンダイヤは利用がしやすい。
- ・これまで休日の利用者ニーズを把握し、収支率にもこだわってルートを立案してきた為、ルートをカットしてまでパターンダイヤにしなくてもよいと思う。
- ・日曜、祝日は買い物ルートであり、定期的に市立病院や公共施設を利用する平日とは異なる為、時刻表を調べてから利用するのではないか。

専門部会において、効率的な運行ルートの検討経緯もあることから、ルートをカットして、パターンダイヤを確保しても、収支率の改善が望めないことを確認した。また、パターンダイヤの実現には、1便あたりの走行時間を50分以内とする必要がある、休憩所への回送や運行途中の待機時分設定等により、各ルートにおいて、パターンダイヤの確保が難しいことを確認した。

(3) バス停設置について

検討①：箕面2丁目の瓢箪池の前にバス停を作ってほしい。

【市民部会での意見】

- ・専門的な意見を聞いて、バス停設置が可能であればよい。

専門部会において、追い越し時に見通しがきかないことや、急勾配であることを考慮した結果、バス停の設置は困難であると判断した。



4. 休日限定の実証運行見直し（案）について

市民部会や専門部会での再検討を踏まえた実証運行見直し（案）を以下のとおりとする。
また、運行ルートについては、運行効率の見直しにより収支率の改善が期待出来る、1便あたり概ね1時間以内で運行するルートで、次頁に示すとおりである。

【実証運行見直し（案）】

	走行距離 (1便)	走行時間 (1便)	運行時間	便数	収支 予測
①ルート (箕面駅～桜井～箕面駅～平和台 ～箕面駅)	9.95km	53分	概ね 9時～12時 ・ 13時～18時	6便/日	45.9%
②ルート (かやの中央～箕面駅～如意谷～ 箕面駅～かやの中央)	14.5km	57分			
③ルート (かやの中央～小野原～ かやの中央～ 栗生団地～かやの中央)	15.00km	59分			

【運行経費】

見直し後の実証運行に係る運行経費は、年間7,287千円と想定される。

【今後の課題】

運転士の休憩所への回送や運行途中の待機時分設定等の運行ダイヤの最終調整が必要となる。

